

平成31年度幼稚園・こども園・小学校・中学校・中等教育学校 PTA 指導者研修会(後期)

〈テーマ〉 学力テストで測れない『非認知能力』が子どもを伸ばす

★親プロ体験、PTA実践発表、中山芳一氏の講話を通して、PTA指導者の学びとつながりを深めました。

【全地区 講師】

中山 芳一 氏

(岡山大学全学教育・学生支援機構)



【中山氏の講話内容】

- ・非認知能力を育むためには、3つのレンズ（自分と向き合う力、自分を高める力、他者とつながる力）で大人が子どもを見取り、確実なエピソードで認め、意識付けをすることが大切。
- ・子どもの能動的な遊びや日記を使って一日をふりかえることがおすすめ。

【参加者の声】

○地域との連携で世帯数の減少をカバーしていた。本校ももっと地域へ学校のことを知ってもらい協力体制を築いていきたい。(備北地区 小学校PTA)

○子供が小さい内から親同士顔を合わせ、仲良くなることが子供の明るい将来につながる。保護者同士のコミュニケーション、地域の親のつながりの大切さを改めて感じた。

(備前地区 中学校PTA)

○「わが子のため、子どもたちのため、自分自身のため」という言葉が一番心に残った。どんな学習塾に通わせるより自分の親がPTAを楽しんでいる姿の方が何倍も価値がある。

(備南地区 幼稚園PTA)



〈PTA 実践発表〉

新見市立千屋小学校PTA



〈PTA 実践発表〉

赤磐市立城南小学校保護者と職員の手紙の会



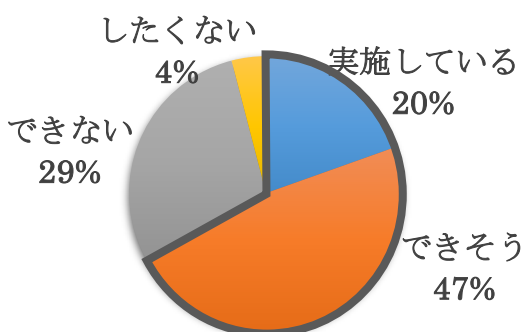
〈PTA 実践発表〉

早鳥町立早鳥小学校PTA

【アンケート結果より】

自分の学校園で「親育ち応援学習プログラム」を実施したいと思いますか。

【親プロ体験前】 67%



【親プロ体験後】 92%

